

住まいと生活の情報誌

せきれい

名鉄不動産

2008
新年号
Vol-50



特集

ふるさと
我が町

津島市

◆特集

ふるさと

我が町

津

尾張の大湊

おおみなと

信長の原動力となった 津島湊の経済力

津島の「津」は、海岸・河岸の船舶が
来着する所。船つき場や湊(港)、あるいは
物資が集まり、集落が形成された湊
町を意味します。今では、天王川公園の
池に変わり想像もできませんが、昔は、
木曾川の支流・天王川が南北に流れ、そ
の川湊として隆盛を極めました。東西
の金銀は、すべて津島を通るとも言われ
たほど大きな町でした。

町として発展したのは、中世、鎌倉時
代。京都と鎌倉を結ぶ古い東海道の尾
張玄関口に位置していたこと、また、伊
勢路へ続く桑名への航路が開けていたた
めでした。室町時代末期になると、尾張、
美濃、伊勢を結ぶ海上・河川交通の要
所として、紙・木材・木綿などの生活資
材はもとより、塩・海苔、そして武器な
どを扱う店が並ぶ尾張随一の貿易都市
へと成長したのです。



天王川公園周辺には昔を偲ばせる風景が今も残っている。



津島神社の本殿は、慶長10年(1605)、松平忠吉の妻 政子により寄進された。須佐之男命・牛頭天王の神紋は木瓜紋。織田信長が家紋に使用したのは五葉木瓜である。



津島神社の楼門は、天正19年(1591)、豊臣秀吉により寄進された。

津島

Tsushima

尾張の虎・信秀から、 尾張の大うつけ・信長へ

この時代に現れたのが、織田信秀・信
長父子でした。当時、尾張の守護は斯波
氏。清洲城を本拠とする織田家直系は、
守護代として実質的な統治をしていま
した。信秀はその分家で、宗家を支える
清洲三奉行の一人である信定を父に、勝
幡城^{ぼた}現・稲沢市平和町地内で生まれました。

信秀は、甚目寺の門前町・萱津^{かやづ}を支
配していた豪族・土田氏の娘(土田御前・信
長の母)を正室として迎え、陸上交通の
要所を抑えます。また、娘ぐらの方信長の
姉を津島の豪族・大橋家に嫁がせ、その
力を背景に、津島の交易から一定額を
矢銭(軍資金)として納めさせることで基
盤を築きました。さらに、熱田の豪商で

海上交易や質屋を営んでいた加藤家と
も親交を深め、これらの豊かな経済力
を背景に、織田一族の中で頭角を表して
いきました。やがて、近隣の三河や美濃
に侵攻し、名古屋台地の北に城郭を構
えていた今川氏豊(駿河・遠江の守護、今川氏
親の末子)を追放して、那古野城主となり、
その後、清洲奉行として清洲城へ移りま
した。

江戸時代になると、京都と江戸を結
ぶ東海道のうち、熱田・桑名間は「七
里の渡し」となりましたが、津島・佐屋
を経由する陸路があったため、津島神
社は「西の祇園社・東の津島社」と並び
称され、「伊勢・津島いずれ欠けても片
まいり」と唱われるほど、全国からの参
詣人で賑わいました。

信長も楽しんだという津島天王祭は、
疫病が起こりやすい夏を無事に過ごせ
るようにと祈願する祭礼。贅を極めた
絢爛豪華な祭の様は、津島衆の威勢ぶ
りを今に伝えています。

伊勢・津島 いずれ欠けても片まいり

信秀が、多数の兵士を養う軍資金の
確保に十分な役割を果たし、信長の「天
下布武」実現への基礎を築いたのは津
島の財力。この地に人々が集まったのは、
港湾の利のほか、もう一つ大きな理由
がありました。それが津島神社です。
祭神は、須佐之男命で、病氣平癒・長命
富貴の御利益をもたらす「牛頭天王」
を祀っていることから、「津島牛頭天王
社」と呼ばれていました。病気の治癒は
神頼みという時代、神社の末社は、信長
の天下取りの頃には東北地方にまで広
がり、三千を超えるほどになりました。
信長と津島衆は、互助の関係で発展し
ていったのです。



堀田家住宅(国の重要文化財) 江戸時代中期、正徳年間(1711~1716)建造。県道拡幅工事のため、昭和48年に約60m西の現在地に移転した。平成8年3月から市の所有。敷地面積は、623坪(2,055㎡)。質も、保存状態も良く、屋敷の構えや間取りなどには尾張の地方色がよく現れている。住宅は、主屋と3棟の土蔵から構成されている。桁行7間半、梁間7間、切妻造重層様瓦葺の主屋は、江戸時代の町屋独特のもの。3棟の土蔵は、屋敷の玄関から主屋の座敷部分を通り抜け奥の蔵に達するように、建物の北方に並んで配置。これは、尾張の町屋建築の特徴と言われている。(堀田家住宅の案内書より引用)

本町の街道に、貿易拠点・津島湊の名残あり

津島を南北に走る本町通りは津島の旧メインストリート。中世には京都と東国を結ぶ古い東海道の一部として、伊勢の桑名と尾張の清洲を結んでいました。本町通りにある橋詰は、上街道と下街道それぞれの起点で、ここに橋が架かっていたことを伝えています。

上街道は、天王川が堰き止められる以前は、堤の上を走る道で、江戸時代には、津島から勝幡・木田・甚目寺・新川・枇杷島・名古屋を結んでいました。また、幕府の巡見使が民情視察のため通った巡見街道として、尾張一宮へも続いていました。それに対して、下街道は、津島から熱田神宮へ続く道。巡見使は、ここから佐屋へ向かつて行きました。川があったことで、つながっていなかった上街道と下街道が交わる三差路には、現在、巡見街道から天王まいに導く大きな道標が立っています。

街道を歩くと、津島の歴史を物語る史跡にいくつも出会えます。堤下神社は、堰き止め以前、川を隔てて津島神社を遥拝する場所でした。津島神社に移され、県指定文化財となった金燈籠があったことから、金燈籠社とも言われています。上街道には、米の座(市場)が開かれ、市神社は、商売の神様として信仰されていました。西へ下ったところには、米や石材などの船着き場があり、ここは「揚げの切り」と呼ばれる湊町津島の北の端。そこに立つ道標には、「国の天然記念物『大むく』は、天王川の東堤にあった津島御殿の周囲に植えられたもので、船頭たちの格好の目印になっていた」と記されています。

津島市街地マップ

1 お旅所跡の大いちよう(県指定天然記念物) 樹齢400年の神木。

2 漆喰の防火壁が設けられた家が本町に残されている。

3 天王川公園に立つ尾張毛織物の祖、片岡春吉(1872~1923)像。

4 上街道と下街道が交わる三差路に立つ参宮道の道標。

5 坂口町の井戸。辻の名残り、花崗岩の方形石組みである。

6 町並みに懐かしい看板も見られる。

7 伝統的建築技法が使われた美しい商家。

8 国際的な詩人として活躍した野口米次郎(1875~1947)像。生家が本町に残されている。

9 天王川公園に立つ野口米次郎(1875~1947)像。生家が本町に残されている。

10 南大鳥居。東にも朱塗りの大鳥居がある。

11 米の座の名残りを伝える市神社。

12 漆喰の防火壁が設けられた家が本町に残されている。



11 お旅所跡の大いちよう(県指定天然記念物) 樹齢400年の神木。



10 南大鳥居。東にも朱塗りの大鳥居がある。



9 天王川公園に立つ尾張毛織物の祖、片岡春吉(1872~1923)像。



7 伝統的建築技法が使われた美しい商家。



8 国際的な詩人として活躍した野口米次郎(1875~1947)像。生家が本町に残されている。



4 上街道と下街道が交わる三差路に立つ参宮道の道標。



5 坂口町の井戸。辻の名残り、花崗岩の方形石組みである。



6 町並みに懐かしい看板も見られる。



1 米の座の名残りを伝える市神社。



2 漆喰の防火壁が設けられた家が本町に残されている。



3 天王川公園に立つ野口米次郎(1875~1947)像。生家が本町に残されている。





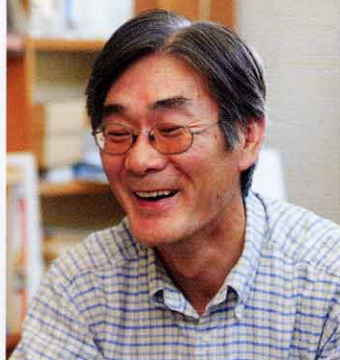
津島文化を

守るために

栄華を誇った津島ですが、敗戦と織物産業の衰退は、大きな打撃を与えました。失われていく町並みや歴史認識を前に、活動を開始した市民活動団体の方にお話を伺いました。

津島の記録と
記憶を後世に。

天王文化塾



天王文化塾(市民活動団体)塾頭の黒田剛司さん。市民活動、執筆活動のほか、「奏聖書店」経営者の顔も持つ。

天王文化塾は、郷土の歴史文化を考える市民団体として、平成12年(2000)の1月に発足しました。ちょうど私が自分の興味から津島の古文書を紹介した「津島歴史紀行」を出版した後だったので、塾頭に担ぎ上げられました(笑)。

津島の歴史の山場は戦国時代ですが、江戸時代になると、今度は神社が活躍するんです。治水技術が発達し、天王川が堰き止められて湊としての機能を失っても、町は繁栄し続けます。津島神社の組織は、神主を頂点とするピラミッドを形成していて、神官たちは、まるで営業マンのように天王信仰を広めたんです。彼らは非常に優秀で、人づてでしかコミュニケーションの手段がなかった時代に、モノも情報も運びました。津島神社の分社が全国にあり、天王祭から想起したと思われる祭が各地に見られるのもこのためです。

文化塾では、市民参加のイベントを開いたり、分科会に別れて研究活動を行っています。子どもたちの講座「天王子ども塾」も開いています。目

下、取り組んでいるのが、本町にある旧津島信用金庫本店のリノベーション。この建物は昭和4年(1929)、旧名古屋銀行(東海銀行の前身)津島支店として新築されたもので、平成18年3月に登録文化



手前が、旧名古屋銀行津島支店。昭和初期の地方都市に建てられた銀行建築の典型として文化財としての価値も高い。



天王文化塾出版の図書。最新版は「つしま街道浪漫」。

財に指定されました。市民の手で町づくりや観光の拠点として活用したいと考えています。そのほか、地域貢献事業として、法人会などの協賛を得て、津島の歴史を紹介する冊子を出版しています。「つしま街道浪漫」は、津島法人会が市民に無料配付したところ500部が2時間でなくなつたんです(笑)。市民の関心が高い証拠です。出版という市民活動は全国的にも珍しく、これからも続けていきたいと思っています。

本町の風景を
次の世代に。

トノ割会



津島の町家風景を次の世代に。トノ割会(資)靴屋(こしや)加藤義隆さん

本町通り一帯は、「トノ割」と呼ばれ、津島神社の門前町や巡見街道として栄え、津島の豪商が住んでいました。建物は、1階屋根と2階屋根の間に「うだつ」と呼ばれる防火壁を設けた町屋造りで、隣合う家の壁が接する、古い町人町独特の建築法が採られています。内部は極太の木材を使用した豪快な造りで、昔からお抹茶をたしなむ家が多いため、多くの家に茶席が設けられています。当時としては、先端的で合理的な空間設計がされているんです。ただ、伝統的な家屋は、現代の暮らしには不向きなので、「トノ割」界隈でも空き家が増えてしまいました。一方で、日本の良いものを評価し、積極的に活用しようという動きも出てきています。

「トノ割会」は、本町筋の住民が中心となって、町の活性化を図ろうと発足しました。まず景観保全として、空き家の軒先にも鉢植えを置くなどして、生活の家並みを整えていく。ベンチを置いて、お年寄りたちが座ってのんびり話せるスペースも作りました。「トノ割」の一角には、町並みの重要な遺産である旧津島信用金庫があり、



天王文化塾が中心になって活動を開始した、建物の再利用にも参画しています。手探りの取り組みばかりですが、津島の良さを見直してもらえるきっかけにしたいと思っています。



「靴屋」の創業は安政2年(1855)。格子造りの自家は昔のまま。店先には、江戸時代に作られた井戸がある。



春には春の 秋には秋の祭あり

尾張津島藤まつり

かつて津島は「藤浪の里」と呼ばれた藤の名所。その名残を今に伝えるのが「尾張津島藤まつり」です。天王川公園には、長さが25mもあり、東洋一と言われる藤棚が造られ、夜間はライトアップされます。12種類14本（2007年5月現在の藤がトンネルのように空を覆います。



◆尾張津島藤まつりは、毎年4月下旬から5月上旬に開催。

尾張津島秋まつり

「尾張津島秋まつり」は、18世紀はじめに始まり、約300年。山車16台、石探車4台が、津島の辻々で何十回転も車切を行いながら、津島神社を指します。車切とは、車輪を軸に車体を回転させる妙技。



神社に到着した山車はからくりを奉納します。宵からは、山車に提灯を飾って艶やかな祭へと一変。装束を替えるスタイルは天王祭と同じで、この贅沢な楽しみ方こそ、津島の祭流儀なのかもしれません。

◆尾張津島秋まつりは、毎年10月の第1日曜日開催。
◆津島市観光協会 TEL 0567-268000



日本に響きわたる

和太鼓の音



太鼓を造り続けて26代 堀田新五郎さん

和太鼓は、宗教的儀式や儀礼に使われる一方で、日本の精神的な世界観を表現する楽器として使用されています。天王社のある津島には、3年前、「26代堀田新五郎」を襲名された太鼓師がいると聞き、訪ねてみました。

店内には、有名な神社の御用達札とともに、長胴太鼓や締太鼓、鼓が並んでいます。「津島湊には、木曾や飛騨からも良質な木材が集まって来た。それで太鼓造りが始まった。90年以上前に津島で造られた太鼓が、岐阜県可児市内にある神社に残っている」と堀田さん。仕事

木は、樹齢250年から300年ぐらいのケヤキが主で、原木の芯をくり抜いた後、3年以上倉庫で自然乾燥されます。太鼓は、手の脂が馴染み、100年、200年を経て、味いに変わっていくのだそうです。

「太鼓の音は、動物の皮が震えて音が出る。だから体内周波数とも相性がいい。太鼓の音の中でも赤ん坊は眠るからね。精神的にも落ち着く上に、棒を持って叩けるなんてのは、太鼓しかない。だから中学生のやんちゃ坊主たちに叩かせるといいんだよ（笑）」



東京の八王子にある八幡社から、修理にやってきた5尺の大大鼓。

代々この地に住み、津島の歴史にも詳しい堀田さんに町の魅力を伺うと「津島には、町衆が兵隊にもなった戦国時代の町の特徴が残っている。津島には寺も多く（約100か寺）あり、寺と寺の間に3尺（91cm）幅の細い小径を設けた。これは戦に備えて逃げ道や攻め道造った名残。とても緻密に計算されて造られた町なんだよ」。



太鼓が並び店内。天井から吊り下げられるのは、戦国時代に使われた珍しい四角い太鼓。（写真左上）

場を見せていただく、新しい太鼓に加え、6尺（182cm）もある大寸物や、修理を待つ太鼓が見られます。胴に使われる



■堀田新五郎商店
●津島市下新田町5-123
●TEL 0567-26-2412



店内には、津島の伝統を紹介する品々も並び。

- 津島市祿宜町1
- TEL 0120-418-928
- 営業時間/7:00~20:00
- 定休日/第2・4水曜日



シンプルなだけに素材の良さが引き立つ。「あかだ」(左)「くつわ」(右)、ともに1袋500円。

とみると、驚くほど「硬い」。しかし、しばらく噛んでみると、お米の素朴な風味や甘さが口の中に湧き出てきます。「あかだ」は、直系1cmほどの米団子を、菜種油で50分近くかけて揚げて作りま。弘法大師が悪疫退散を祈願して津島神社に供えたのが始まり。「くつわ」は、うるち米ともち米の粉に砂糖を混ぜてクツワ型に成形したものを、同じく揚げて作ります。すべてが手つくりのため、朝は4時半起きです。製法も味も変えない、大変でも一番大切なことだと思つたんです」と岡田さん。取材スタッフには、この「くつわ」が大好評。クセになる味、と絶賛です。大勢の参拝者で賑わう年末年始は予約をおすすめします。最近ではネットでの販売も増えているそうです。



岡田真雄さんは6代目。津島ライオンズクラブの前会長で、市民活動にも多忙。

津島神社前には、縁起銘菓「あかだ」「くつわ」を売る菓子店が並びます。その「くつわ」は、古来の手つくり製法を守る店です。食べ

伝統を真摯に守って6代目

あかだ屋清七

ぶらりと津島 味あるふるさと



市街地が広がり、湊の面影はないが、大通りから一歩入れれば、辻々にその趣が残っている。右の池が「天王川公園」、左の鳥居が「津島神社・南大鳥居」。



- 津島市本町1-66
- TEL 0567-26-2790
- 営業時間/11:00~14:00
16:30~21:00
- 定休日/火曜日



「信長茶漬け」600円。メニューにはなく予約客のみの幻のメニュー。

うなぎともろこで木曾の川魚を楽しむ。「もろこちらし」900円。

前日の夜に作るので、当日は切るだけ。法事などでお客様に接待に追われても、さっと出せるんです。それに、一晩押しした寿司は米が締まり、佃煮の味が染みておいしい。昔は甘露煮にすることで、魚が捕れない冬のタンパク源としたんです」と野口さん。



祭のもてなしに欠かせない「もろこ寿司」840円。3時間前までに予約が必要。



創業60余年、3代目を任される野口佳男さん。

果のある葉フンを敷き、寿司飯を詰め、もろこの佃煮を載せて更に葉フンを置き、上ぶたの上から圧力をかけて作ります。食してみると、甘めのシャリにこつとりと甘辛のもろこが馴染む濃厚な味わい。戦後、名古屋での修行を終えて津島に帰って来た先代が、津島好みに味を改良したとか。昔は、家庭で作られていました。

津島の味を、魚で、シャリで堪能

末廣寿司



昔ながらの製法をかたくなに守る長珍酒造。

- 津島市本町3-62
- TEL 0567-26-3319



長珍酒造こだわりのさばきのいい蒸し米を作る釜戸。



新蔵(昭和蔵)と呼ばれる蔵の内部。毎年11月、ここで仕込みが始まる。

昔ながらの製法をかたくなに守る長珍酒造。酒造りは、麹(も)と(麹)と蒸し米と水で酵母を培養したもの、造りと言われますが、長珍酒造はそこに「蒸し」が加わります。今でも和釜を使い、蒸しの後半から強い火で空焚きすることによって、表面は硬く中がふくらんださばきのいい蒸し米を作ります。「表面に水分が少なければ、麹は中心部に菌を食い込ませようと作用するんです。分解酵素の力が高まるので、米の旨味を十分に味わえる酒ができるんです」。津島の水は、カルシウムやミネラルの多い硬水。それも手伝って通好みの骨格のしっかりした酒ができるそうです。「技術とは、最新の設備を持たずとも、ある物で蔵のすべてを知りつくし、素晴らしい酒を作ること」と蔵元であり蔵人でもある桑山雅行さん。いただいてみると、頑固な造り手の酒らしい頑固な味。「ぬる燗」で食中酒として飲むのがお薦め。



江戸時代後期創業。全国新酒鑑評会や名古屋国税局酒類鑑評会において金賞を受賞。数々の受賞歴が酒質の良さを物語っている。



長珍酒造の若奥様、桑山喜美子さん

酒造りは、麹(も)と(麹)と蒸し米と水で酵母を培養したもの、造りと言われますが、長珍酒造はそこに「蒸し」が加わります。今でも和釜を使い、蒸しの後半から強い火で空焚きすることによって、表面は硬く中がふくらんださばきのいい蒸し米を作ります。

昔ながらに骨太、頑固な酒

長珍酒造

全国に知られる津島の一大絵巻
「尾張津島天王祭」。
その華麗な祭の舞台裏を訪ねました。

裏方たちの

尾張
津島

天王祭



尾張津島天王祭協賛会
事務局 堀田正裕さん

「祭は、見るものではなくやるもの。
体感してこそ、継承の意義は理解できるんです」



尾張津島天王祭協賛会
会長 余郷利彦さん

「天王祭の車は、豪華そのものです。
でも祭は、実は、飾りではなく、心なんです」

津島五か村の
町方衆によって現在の姿に

余郷さん 昔は、本町筋一带に五か村と言われる5つの村があり、その有力な町方衆(町衆・地主)の御用金によって祭を支えていました。

堀田さん 町方衆は、木曾川周辺や河口に至る広大な新田を所有し、そこから資金が集まっていたのです。しかし、明治の土地税制や戦後の農地改革によって、地主は土地を手放さざるを得なくなり、町方衆の資金力は衰えていきました。

余郷さん 現在は、市民の祭として学校区ごとに1つの車を担当しています。東西南北の4区と神守地区です。協賛会は、浄財をまとめる役員が各区20人で、計100人。市内約400町内より各戸の寄付をお願いしています。

堀田さん 天王祭では、車だんじりぶねのことを「車」と呼びます。宵祭の翌日に朝祭があり、どちらにも車を使いますから、宵祭用に組み立てて飾り付けをし、朝また違うカタチに組み替えなければなりません。しかも車の組上げには釘を使いません。労力も技術も必要な仕事で、そういった専門的な仕事は祝司しゆくしが担当します。

余郷さん 祝司は、1つの車に20名くらい。もともと大工方の棟梁がやりましたが、現在は地元建築会社が担っています。

子どもからお年寄りまで 市民総出の祭

余郷さん お囃子方は車ごとに15〜20名、小学生から大人までが参加します。棒姿の太鼓は4〜6年生が中心に12名。中学生になると笛を担当し、3〜5名が羽織袴で参加します。自前なので、家庭のご負担も大きいのですが、50年の伝統行事に参加する意義は深く、続けてやってくださいとお願ひしています。稚児は4歳位の男児で、梅雨明けの3日間です。暑さと不安で体調を崩すこともあります。風習では、乳母と言つて、おばあちゃんが付き添いますが、今は核家族化が進み、例外としてお母さん方をお願いしています。しかし、乗る以上は正装。付き添いでも絹の着物を着て、髪をセットしてもらわなければなりません。

は、町内からの協賛金、県や市の助成金、団体・企業からの寄付。6月の暑い中、役員たちは頭を下げて300軒以上を回るんです。役員会費も負担し、時には愚痴が出ますが、それでも祭は継承していかなくてはなりません。だから、車が壊れたらどうしよう、金の工面はどうしよう、と、裏方はそんな苦労ばかりです。役員の場合は、神社の社務所を使わせてもらい、タダでお茶をいただいで経費を節約。事務局は神社にお願いして人件費も節約。ビール1杯飲めない協賛会なんです(苦笑)。

提灯1個、 ローソク1本にも伝統は宿る

堀田さん 車には、合計550個ほどの提灯がつかます。張り子や電飾じゃないかと聞かれますが、提灯は和紙で、灯りはすべてローソク。伊勢湾台風以降、市内のローソク店がなくなり、仕方なく洋ローソクに替えましたが、それも見直して昨年からは準和ローソクに改めました。車が池を往復する3時間と準備を合わせて4時間を耐えるローソクでないと祭になりません。

余郷さん 提灯をつくる人も、今では高齢となり後継者不足。こちらでも何とかしなくては…。

堀田さん 車以外にも、屋形舟の維持管理や150人も船頭集めなど、新しい課題も出てきて、今後も問題山積です。

お客さまをもてなし、 楽しませる祭

堀田さん 大変なことばかりですが、祭は1回経験すると、味をしめて生き甲斐になっていくんです。

余郷さん そうです。基本を変えずにきちんとしたものを継承する。継承は続けると本物になるんです。

堀田さん 神社としても、今までは稚児さんの認識が薄かったと反省し、今は積極的に稚児をアピールしています。市長を表敬訪問したり、新聞に写真付きで



朝祭



尾張津島天王祭 宵祭～朝祭の見どころ表(平成20年)

| 月日 | 時間 | 行事名(赤字 神社神事) | 祭場 |
|-----------|-------|--|-----|
| 7月 25日 | 午前 | ●神輿飾(神輿に飾付けを行う) | 神社 |
| | 19:00 | ●車屋出発 | 車河戸 |
| | 19:20 | ●船上奏楽 | |
| | 19:40 | ●車河戸出発 | |
| | 20:00 | ●神社にて打廻 | 神社 |
| 26日 | 10:00 | ●神輿渡御祭 (御祭神を神輿にてお旅所にお渡りいただく) | お旅所 |
| | 18:30 | ●車屋出発 | 車河戸 |
| | 19:00 | ●如意点火 | |
| | 20:00 | ●迎え | |
| | 20:45 | ●出船 | |
| | 21:30 | ●お旅所着 | |
| 27日 | 0:00 | ●大御饗調進祭 (特殊神饗を本殿内陣に供え 国民の疫難・厄災を祓除く祈願) | 本殿 |
| | 8:20 | ●車屋出発 | お旅所 |
| | 8:40 | ●迎え | |
| | 9:00 | ●出船(市江車) | 車河戸 |
| | 9:45 | ●お旅所着 | 神社 |
| | 10:30 | ●神輿渡御祭 (神を神輿にてご本殿にお帰りのたき、祭礼後拜殿にて奏を奏上) | |

余郷さん 天王祭は、信長をもてなしたように、お客さんを接待するための祭です。だから、遠くからわざわざ観に来てくださる人には、ぜひ屋形舟に乗って、あるいは棧敷席でお弁当を広げて観ていただきたい。安く座れる棧敷も用意していますから、還暦や喜寿などの祝い兼ねてご親族で来てほしいですね。

朝祭の車楽舟

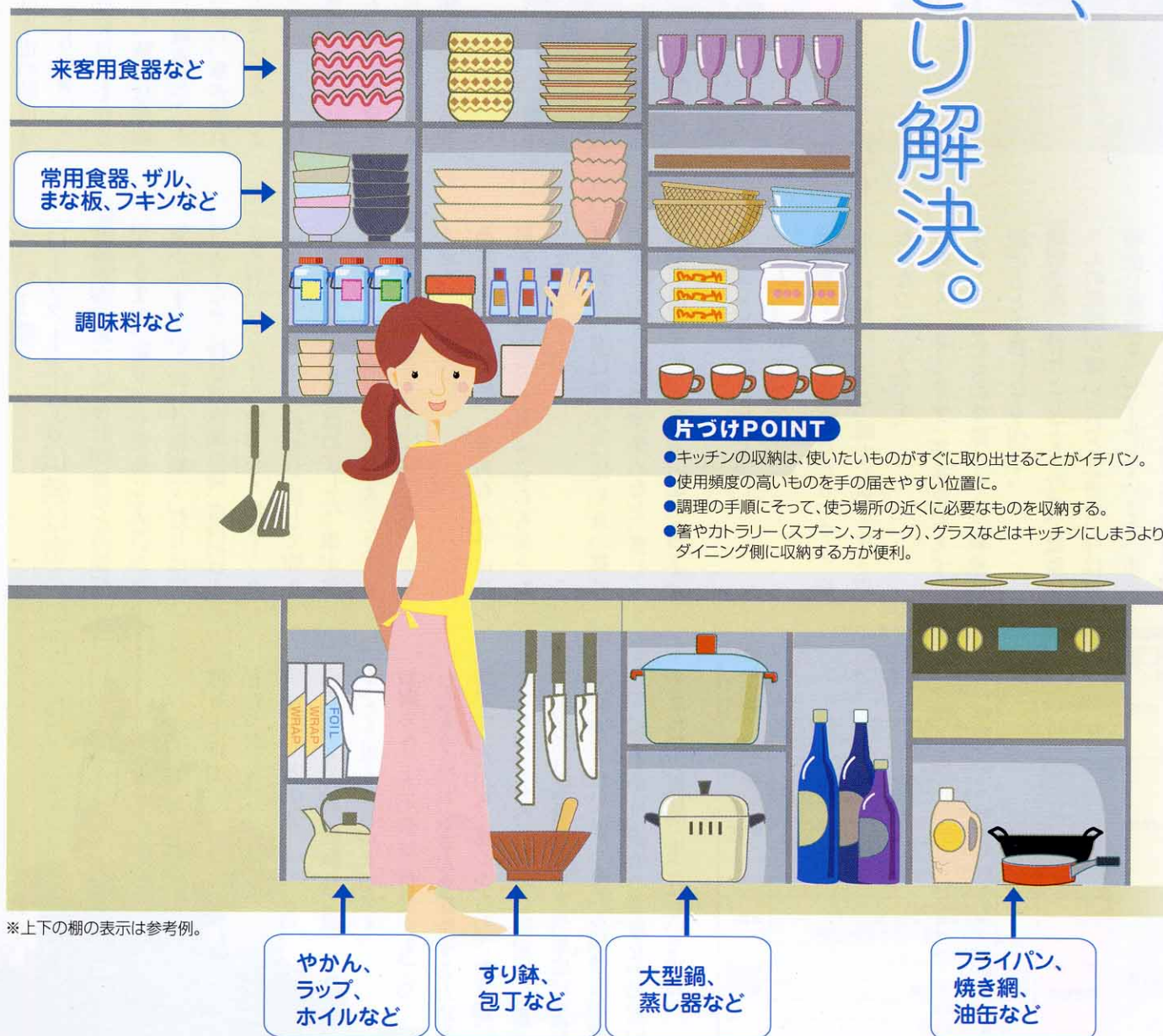
キッチンの収納問題、 リフォームですっきり解決。

細々したものもスッキリ。
システムキッチンは収納上手。

最近のシステムキッチンは、食器洗い乾燥機や浄水器など設備が充実し、また水栓や天板の性能も向上し、20年前に比較すると、格段に使いやすくなっています。中でも大きな変化は「収納」。引き出し式のキャビネットの登場で、開き戸時代に悩まされていた多くの問題が解決されました。

例えば、開き戸では、フライパンや鍋は重ね置きしなければならず、奥にあるものを取り出すには、前部にあるものをいちいち取り出さなければならなかったり、キャビネットのいちばん奥を掃除するには、すべてのモノを外に出さなければなりませんでした。引き出し式の優れている点は、フライパンや鍋を入れることを想定して、引

き出しの高さや幅が考えられていること。引き出せば奥まで見渡せるので、奥にしまった普段は使う機会のない調理器具も見つけやすく、片付けやすいこと。また、足元のいわゆるキャビネットの「台」となるところまで収納として使え、醤油や食用油などの重い調味料や飲料、ホットプレートなどを入れておくことができるよう工夫されています。小さな食器棚やストッカーひとつ分が、システムキッチンの中に入ってしまうほどです。さらに、小さな瓶に入っているスパイスをきちんと整理できるスパイスラックや、L型キッチンでデッドスペースになりがちなコーナーも上手に使う回転式収納、手が届かないという理由で使いにくかった吊り戸棚は昇降式でカンタンに出し入れできるように なっています。

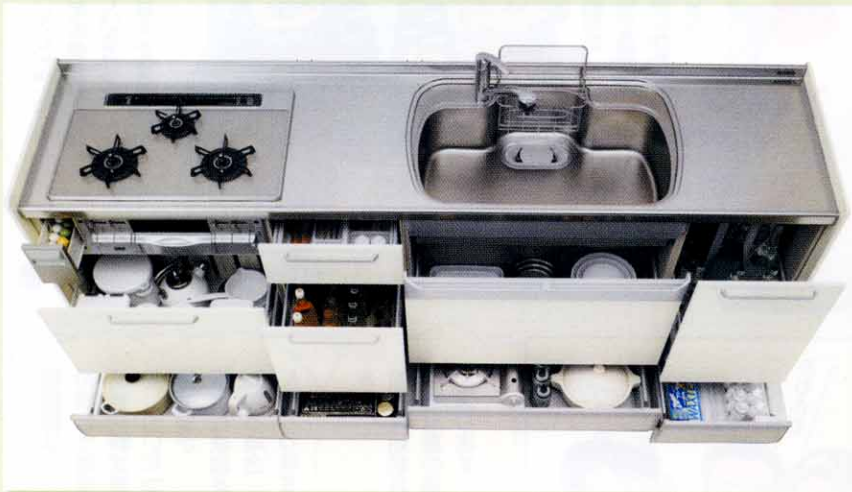


キャビネット収納は、 こんなに進化している!

今回は、3メーカーの人気のキッチンにクローズアップ。それぞれの収納の工夫をご紹介します。

使う頻度が高いキッチンツールを手元に収納。

[クリナップ/クリンレディ]



I型255cm ステンレスシンク シリーズ参考価格帯 110万円～



引き出しの上の段をワークゾーン、下の段をストックゾーンと位置づけて、カウンターでの作業に連動して収納を設定。ポウルやパッド、よく使う鍋などを上の段にし、圧力鍋やカセットコンロ、土鍋などは下の段へ。さらに、扉のすぐ裏側には引き出しを半開して出し入れできる収納を設置。包丁や置き場に困るまな板もさっと片付く「ハンギングシステム」で、主婦の動きに連動した収納が設計されています。

「使い勝手」に合わせられる自由で効率的な収納。

[タカラスタンダード/エーデル]



I型255cm ステンレスシンク シリーズ参考価格帯 65万円～



デッドスペースになる足元部分を収納スペースとして活用。重量物や普段使わないものを収納するのに便利です。さらに、エーデルの特徴は「マグネット式」で使う人が自由に設計できること。スライド式の引き出しの中を、収納するモノの大きさや種類に応じて、間仕切りやマルチラックを調整。家族の成長に従って、変わっていくアイテムに合わせて、常に効率的な収納に進化させることができます。

引き出し式+開き扉で、幅広いアイテムに対応。

[日立ハウステック/LSシリーズ]



I型255cm ステンレスシンク シリーズ参考価格帯 110万円～



小物などをさっと出し入れできるように引き出し式の一部を3段に。コンロの下の下段引き出しは、500mlの缶ビールが2ケース収まるゆとりある収納です。また、背の高い一升瓶や米びつなどを収納するのに便利な開き扉の収納を端に設けています。棚板を付けて半端な長さの瓶や保存食を置いたり、棚板なしで長尺物に対応させるなど、ストック品の内容に応じて工夫ができるよう配慮されています。

※リフォームについてのお問い合わせは、名鉄不動産 お客様センター・リフォーム事業部まで。TEL(フリーダイヤル)0120-046-847

※リフォームの場合は、お客様のお宅の状況により価格が異なりますので必ず見積もりをお取りください。もちろん無料です。

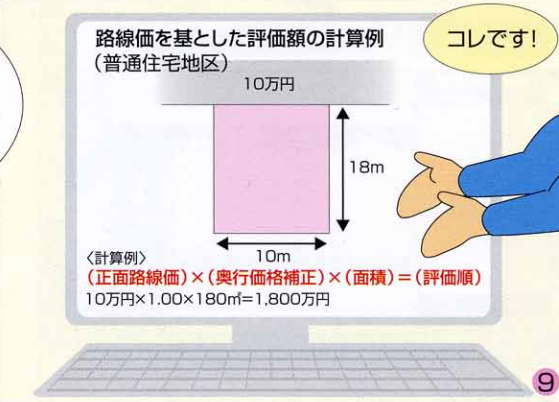
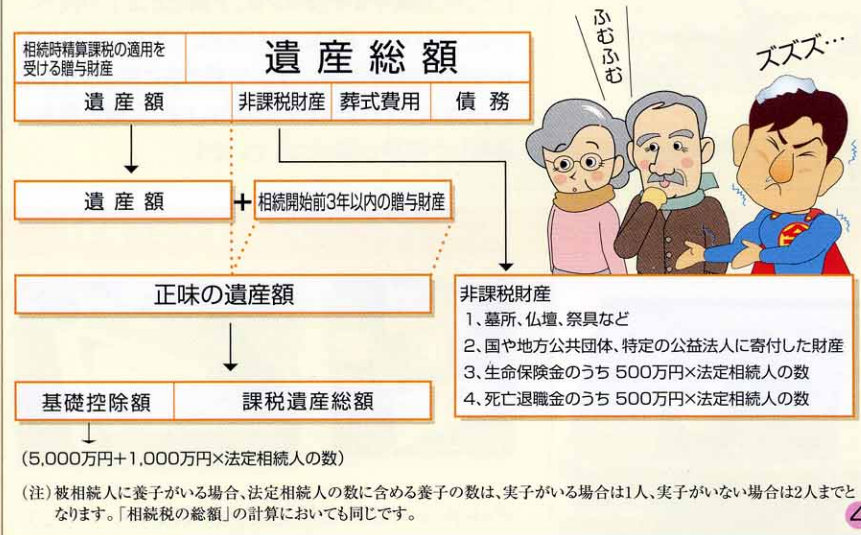
※価格帯につきましては、内装・設備・撤去処分工事費等は含まれません。

しくみと路線価



最近、テレビでも相続だの信託だのってやっているけど、うちは大丈夫か。

相続税は、相続や遺贈の総額にかかるのかしら。



※路線価図及び評価倍率表は、国税庁ホームページの「路線価図等閲覧コーナー」で閲覧することができます。

※詳しくは、お近くの税務署でお尋ねください。

住まいの快適を考える

住まいる。玄関の佇まい。

玄関は、その家の第一印象を感じとる住まいの顔。靴や傘などの収納もさることながら、趣向が感じられる雰囲気づくりをしたいものです。



名鉄ホーム「わが家」モデルハウス玄関。

玄関の始まりは、鎌倉時代。禅宗寺院の入口に用いられた、あるいは、室町幕府八代將軍足利義政が隠棲した東山御所など諸説ありますが、言葉の意味は、玄寂に在る関門。玄（ふかき）関（とざし）という意味の詞から出たと言われています。玄関は、武家社会において、階級の高い方への接客用の出入口として使われ、一般住宅への普及は、明治以降でした。玄関は、家族にとって内と外の接点であり、街と住まいを繋ぐもの。住まいの中でも最も利用頻度が高い場所です。「間取りの中で当然必要なもの」という考えから、「外と室内を結ぶ場所」として、どんな機能や役割を持た

せようか」と踏み込んで考えてみることで、より快適に計画・活用することができます。

玄関の演出と配慮

- ① 明るく開放的な空間のある玄関。緑や置物などで、おもてなし感を演出。
- ② トップライトや吹き抜けを設け、スペースを広く明るく見せる。
- ③ 階段をポイントに、玄関ホールをダイナミックに演出。
- ④ ちょっとした接客の場所を設けて、気軽な応接スペースとして活用。
- ⑤ 加齢による足の筋力の低下に備え、上がり框の段差を低くする。広い土間(床)をとることで車イスにも対応可能。
- ⑥ 玄関ドアをユニバーサルデザイン仕様にするば、出入りがグンとラクに。

伝統的な玄関のしつらえ

玄関の上がり口は、土間との段差がついていて、履物を着脱するときの腰掛け代わりに使われたり、沓脱石や式台を設置するなど、上がりやすさのための工夫がありました。床の上がり端につける横木は、上がり框。木目の美しい木材が使われました。しかし、近年段差に配慮するデザインの普及で、段差を低く設定。また、土間にタイルや石を敷き、天然石を上がり框にして高級感を演出する住宅も多く見られるようになりました。

【土間】「土間」は、屋内の土の床のことですが、現在は、履物で踏み込める床の総称として使われています。

【式台】もともとはお客様を迎えの挨拶をするところ。玄関の土間とホールの段差が大きい場合、その中間の高さに設けます。

※沓脱石とは、玄関の土間や庭から室内に上がる際履物を脱ぐ石の台のことをいいます。P13参照。

【上がり框】上がり框は、上がり口の床の段差に設ける見切り材のこと。玄関ホールで靴を脱ぎ床に上がったところ。昔の商家などでは、使用人が玄関で用件を伺ったため、「取次ぎ」などとも言われました。

最近の玄関ドアの機能

最近では、玄関回りの防犯に関心が高まっています。ここでは、主要なものを列記してみました。

【防犯】ガラス破り、ヒッキング、ドア錠破り等から守るため、鍵に工夫を凝らしたもの、カメラ付きのインターフォン、人感センサーライトなど。

【防火】甲種防火戸（防火区画に用いられる）と、乙種防火戸（隣接家屋からの延焼を防ぐ）の防火戸があり、素材は、鋼製またはアルミ



製のものが多い。ガラスの場合は、網入りガラス、耐熱強化ガラスなど。

【断熱性】断熱ガラスや、気密パッキン等を使用したドア。

【使い勝手】バリアフリー扉の開閉が軽小さなお子さんやお年寄りにも負担にならないよう工夫されたプッシュハンドルなど。



「わが家」モデルハウス

尾張旭市印場元町北山4404-1
定休日 火・水曜日
名鉄瀬戸線「印場」駅徒歩1分



お問い合わせは
☎ 0120-464-241

石に癒される風景

京都の寺院に代表されるように、日本では独自の造り方がされてきました。西洋庭園は、見て歩いて楽しむために、樹木を植えたり噴水・花壇を造ったりして人工的に整備し、建築としての美しさを求めているのに対し、日本庭園は、「幽玄」「わび」「さび」「枯山水」などの言葉で表現されるように、庭に独特の思想や芸術を求めました。敷地のゆとりを利用した小さな庭から住まいの中に置く箱庭まで、日本人は、そこには癒される空間を求めます。そこで、日本のオリジナルともいえる天然石の使い方から、現代の庭造りのヒントを探してみました。

日本の庭の表情に 欠かせない石

日本の庭づくりでは、よく天然の石を加工せず、庭石として、そのままの姿を活かして利用されます。1石で十分に鑑賞できる石を選び、庭の景観に起伏を描きます。複数の石を組み合わせて設置する場合は、石組と言つて、2石以上の同系・同色の、大きさの異なる石（立石、伏石、平石、構石）で構成します。

日本の伝統的な住宅では、この庭石の材質や大きさ、配置によって庭園の趣が

決まるとして、多様な技法が生まれま

した。例えば、飛び石は、足を置きやすい踏面が平らな石を、門から玄関へのアプローチ（園路）として配置します。雨の日などに足元が地面のぬかるみや草などで汚れないようにする実用性もあり、茶室への導線にも使われています。

ほかには、飛び石と建物の出入り口を結ぶ沓脱石。こちらは、書院造りの縁側や、町家では中庭に降りるためなどにも使われ、約90×40×30cm以上のものを使用するのが一般的です。玄関には、飛び



有楽苑(犬山市)の国宝茶室「如庵」 管理/名鉄犬山ホテル

石から一段上げて、玄関に入りやすくするためであったり、玄関の土間から室内へ入りやすくするために置かれました。

山の多い日本には、各地に良質な石の産出地があり、加工の技術も発達し、技法をこらした灯笼や門灯、造形的なモニュメントなども造られるようになりました。モダンなデザインを取り入れた現代的な住宅にも、石は確かな存在感を示してくれます。庭は、家族や当主の小さなこだわり空間、お気に入りの石を取り入れた自慢の庭を造ってみませんか？

石のお話

代表的な銘石

阿波の青石 徳島県吉野川で産出される緑泥片岩。青緑系で石面に皺があり、景石、石橋、飾り石、飛び石などに使用される。

佐渡の赤玉石 新潟県や福島県から産する。色は名前の「ごとく赤色である。飾り石や根がけ、根締めなどに多く用いられる。



自神さんの
庭づくりの
ツボ

一級造園施工監理技士
しらげん
白神 健
「庭」についてのご質問
ご相談もお気軽にどうぞ。
TEL 052-822-2842
(土・日・祝を除く8:30~17:30)

庭石の銘石として知られる「阿波の青石」「佐渡の赤玉石」「鳥取の佐治川石」などは、全国的に有名な庭石材ですが、全国各地には、その土地ごとに古来重用されてきた、いわゆる「銘石」があります。

この地方でも、庭石などで重用される岐阜県の「木曾石」「揖斐石」「美濃石」や、静岡県の「伊豆青石」、庭園のまき石などに使われる三重県の「那智黒石」、石垣や張り石などの加工素材として「恵那の錆御影石」や「岡崎の白御影石」などがよく知られています。

日本の庭園づくりの素材として、石材は重要な位置を占める素材ですが、それは石材が硬質で長年の使用に耐える素材であること、その風合い・質感が良いことによるところが大きいでしょう。逆に石材は、その特性のため加工が難しく、重量が重いため運搬や取り扱いが非常に困難です。庭石を取り入れたいとお考えの方は、専門の知識と技術をもったプロの業者に相談されることをお勧めします。

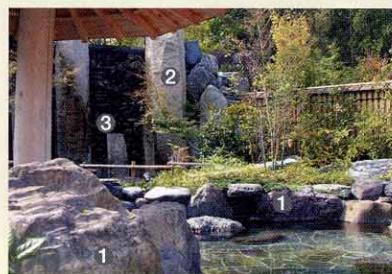


「魅せる住まい」の参考にしたい、現代の石のデザイン

石を活かすのが庭の造りなら、庭を活かすのも石。そこで、庭づくりのプロたちによる、石の色合いでコントラストを描いた石庭・公園・露天風呂を例にとり、石使いのポイントを紹介しします。

枯山水風の庭園に、御影石の延べ石と木曾石でアクセントを付けている。シンプルな造りの中に庭石の存在が引き立てられている。

- ①景石 …… 木曾石
- ②延べ石 …… 1. 緑石/御影石
2. 石張り/木曾石(ゴロタ石※)
- ③砂坪敷き …… 白川砂利



落葉樹を中心とした配植の里山風庭園。損斐石の赤・青・虎目模様の岩組みが、変化に富みながらも落ち着いた雰囲気をつくっている。また、滝の袖石として立て込まれた恵那鍬御影石の巨岩が荘厳な雰囲気を醸し出している。

- ①石組み …… 損斐石
- ②滝袖石 …… 恵那の鍬御影石
- ③滝落水部 …… 美濃石(小端積み※)



美濃石のみで組み上げられたせせらぎ。護岸には直径40~60cm程度の野石を用いて自然な凹凸感を出し、川底には直径10~20cm程度のゴロタ石を敷き並べている。同一の石材で仕上げられているため、全体に統一感がある。

- ①護岸 …… 美濃石(野石※)
- ②川底 …… 美濃石(ゴロタ石※)
- ③飛び石 …… 美濃石(野面石※)

※ゴロタ石/「五郎太石」と書く。直径15~18cm位の加工していない玉石のことを呼ぶ。また、12cm未満のものは砂利、砂となり、21cm以上のものは玉石として扱うことが多い。野石/転石と同じ意味であるが、割らずに用いる自然石のこと。ゴロタ石より大きい石の総称。野面石/野石を大割りにした荒面のままの石のこと。小端積み/平らな石の小口を見せる積み方。



恵那鍬御影石の階段

●取材協力
名鉄環境造園株式会社
名古屋市瑞穂区新開町29-33
TEL 052-822-2841(代)

| | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|----------------------|---|
| <p>岡崎の 白御影石</p> <p>白系でやや目が細かい花崗石。粘りがあり彫刻に適しており、土木材や外構のほか造園用など幅広い用途に適し、大材への対応も可能である。</p> | <p>恵那の 鍬御影石</p> <p>岐阜県恵那郡蛭川村(現、中津川市蛭川)で採石されている花崗岩。白みかげと濃淡模様のあるサヒ石とがある。サヒ石はその独特の趣きが珍重されている。</p> | <p>那智黒石</p> <p>三重県熊野市神川町・熊野静八丁の深山で採掘されている。昔は金鉱脈を発見するために鉱石を那智黒石の黒い石肌にごすりつけて金粉の有無を調べたことから試金石とも呼ばれていた。</p> | <p>伊豆青石</p> <p>静岡県田方郡伊豆長岡町戸沢(現伊豆の国市戸沢)で採掘されている。緻密な石質の軟石で、彫刻加工がしやすい。色は青灰色。水にぬれると青緑色になる。</p> | <p>美濃石</p> <p>岐阜県恵那郡現、恵那市を中心に産出するゴロタ石。中山石笠置石とも呼ばれ、緑石や石積みなど多用途な修景石材に使われる。</p> | <p>損斐石</p> <p>岐阜県揖斐郡揖斐川町で産出する結晶片岩。青系、白系、緑系があつて川石として高級。</p> | <p>木曾石</p> <p>岐阜県恵那郡福岡町(現、中津川市福岡)と蛭川村(現、中津川市蛭川)の一部で産出する。自然石のもつ素朴さや洗ひ色合い、表面に苔が生えるすいといった特徴がある。</p> | <p>東海地方の石</p> | <p>鳥取の 佐治川石</p> <p>鳥取県の佐治川から産出される凹凸に富んだ石。色は青黒く、雨にぬれると青光を帯びる。硬質で重く、容易に苔を生じない。</p> |
|--|---|--|---|---|---|---|----------------------|---|

予告広告 本広告を行なうまでは契約または予約の申込みは一切応じられません。



※掲載の写真は航空写真に建築物が描き加えられたもので実際の様子は異なる場合があります。

次世代型オール電化×キッチン新三種の神器があなたに“キレイ”をご提案。
名鉄不動産がお贈りするkirei-life project

メイツ太平通

2008年2月分譲開始(予定)

9月上旬完成予定

- 名称/メイツ太平通 ●所在地/名古屋市中川区太平通三丁目32、名古屋市中川区上脇町二丁目24
- 交通/名古屋臨海高速鉄道(あおなみ線)「荒子」駅徒歩15分・名古屋市営バス「太平通三丁目」バス停徒歩1分 ●地目/宅地 ●用途地域/準工業地域・準防火地域 ●地域・地区/なし ●建ぺい率・容積率/60%・300% ●総戸数/69戸 ●販売戸数/未定 ●敷地面積/1885.31㎡(約570.30坪) ●建築面積/644.52㎡(約194.97坪) ●建築延床面積/5982.79㎡(約1809.79坪) ●構造・規模/鉄筋コンクリート造地上14階建 ●間取り/3LDK~4LDK ●専有面積/71.28㎡~92.50㎡(約21.56坪~約27.98坪) ●温水器置場面積/0.88㎡(約0.26坪)・1.00㎡(約0.30坪) ●ポーチ面積/4.52㎡(約1.36坪)・6.90㎡(約2.08坪) ●バルコニー面積/11.58㎡~13.80㎡(約3.50坪~約4.17坪) ●サービスバルコニー面積/2.33㎡~7.17㎡(約0.70坪~約2.16坪) ●テラス面積/13.20㎡~16.62㎡(約3.99坪~約5.02坪) ●専用庭面積/16.50㎡~57.18㎡(約4.99坪~約17.29坪) ●駐車場/69台(平置き16台・機械式3段23台・機械式4段30台) ●駐輪場/138台 ●予定販売価格/未定 ●建築確認番号/第BVJ-N06-10-1883号(平成19年1月31日付)・第BVJ-N06-11-1883号(平成19年6月14日付) ●完成予定/平成20年9月上旬 ●入居予定/平成20年9月下旬 ●分譲後の権利形態/専有部分:区分所有権・共用部分:専有面積割合による所有権の共有 ●管理形態/区分所有者全員で管理組合を結成し管理会社へ委託 ●売主/名鉄不動産株式会社 ●販売代理/株式会社長谷工アーベスト ●設計・監理/株式会社長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部 ●施工/株式会社長谷工コーポレーション ●分譲開始予定/平成20年2月(予定) ●予告広告/契約・予約については分譲開始までお待ちください。価格・販売戸数・管理費等は未定です。 ※全体を一度に売り出すか数期に分けて売り出すかが確定しておらず、販売住戸も未確定の為、物件データは全販売住戸のものを表示しています。

名古屋臨海高速鉄道(あおなみ線)「荒子」駅徒歩15分
名古屋市営バス「太平通三丁目」バス停徒歩1分



MEITETSU Group
名鉄不動産

長谷工 アーベスト
HASEKI

www.taihei69.com

お問い合わせ/「メイツ太平通」プロジェクトまで
0120-273-633
営業時間/午前10時~午後6時(毎週水曜日・第2火曜日定休)